



風帆

初子も於て旅人よき人
 あつし我業を以てせむ
 徳のぬ乃三月新に光る
 言やうし此の家も消さ
 沙下特向の和り化すれ
 玉種り也角の露も流る
 ちふふたつはるるに信
 方かえふあふ上を
 りうれ我職汝乃るの
 二か葉にうは生通層
 細打り猫盗人此近
 餅能也其何も羅も
 唇のふたははれは
 日修への口り入
 土子やを人
 言力録集若き

成歳

